



東京情報大学入学式における 学長式辞

東京情報大学

学 長 牛久保 明 邦

平成 25 年度第 26 回東京情報大学の入学式にあたり、香取市市長 宇井成一様、千葉市長代理として千葉市若葉区長 鎗田 睦様、本学の設置者である学校法人東京農業大学 大澤貫寿理事長をはじめご来賓の皆様には大変お忙しい中、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭様でこの様に盛大な式典が挙行できますことに、感謝申し上げます。

本日、只今入学を許可された総合情報学部総合情報学科 479 名、三年次編入学生情報システム学科 1 名、環境情報学科 1 名、情報文化学科 1 名計 482 名、大学院総合情報学研究科博士前期課程 7 名、総計 489 名の皆様ご入学おめでとうございます。

また、お子様が厳しい入学試験を突破され、東京情報大学への入学を心待ちにされていたご家族の皆様には、あらためて心から御慶び申し上げます。

本日入学を許可された皆さんは、自らの意思で、数ある大学の中から本学への進学を決意されました。本学の教職員を代表して心から歓迎いたします。この意思こそが今日からの大学生活において最も大事なことです。初心を貫徹するために、まず第一歩となる本日この日に、自ら学び自らが成長しようという意思を自らや家族、先生方に誓って下さい。

私達は、皆さん一人ひとりが持つ素質や能力を大きく伸ばすとともに、知識と技術に裏打ちされた人格を養い、これからの情報社会を支えるリーダーとして活躍することができるよう皆さんと共に全力で教育と研究を進めて参ります。そして、4 年後には、素晴らしい大学で学び、尊敬できる恩師に出会え、生涯にわたる良き友人をたくさん得ることができたという実感を持って、皆さんが揃って卒業してくれることを心から願っております。

ここで、東京情報大学で学ぶ学生として本学に関する歴史や教育理念などを知っておいて頂きたいと思います。本学の経営母体は、学校法人東京農業大学であります。その中核となる東京農業大学は、明治の英傑榎本武揚を創始者として 1891 年に創設され、我が国有数の農学系総合大学として現在に至り、本年で 122 年になります。榎本武揚は、近代の創成期の明治初期にあって世界に目を向け、わが国の未来を展望し、生まれて間もない近代国家の基礎作りと発展のために尽したばかりでなく、国際人として人類の平和と福祉のために、幾多の困難を乗り越えて多くの業績を残され

た人物です。その榎本の精神を礎に本学は、学校法人東京農業大学の7つ目の学校として1988年に設立され、本年度で創立26年目を迎えます。本学は、「情報」を大学名に冠した我が国で最初の私立大学であり、「未来を切り拓く」を建学の精神として、フロンティア精神にあふれた情報学の先端研究と実践教育を行っています。教育理念は、「現代実学主義」です。これは、榎本武揚が唱えた「実学」の精神を継承したもので、身をもって学び、社会の発展に寄与する人物を育成するための理念をあらわしています。さらに、大学を人間形成の場として捉え、学生一人ひとりの個性を重んじて、感性豊かに創造性を育むことができるよう「自立と協調」を学生指導の理念としています。これらは、本学で学ぶ上で常に念頭において過ごしてほしいものです。

さて、今日から東京情報大学での学生生活が始まります。高校までの教育は、学問の基礎やルール等の知識を修得することを目的として、教科書中心の覚えることに重点を置いた「学習」でした。大学では、それらの知識や経験を活用して、実践しながら試行錯誤をすることが求められます。様々な課題を解決するためには、理系から文系にわたる広範な知識や実社会における事例、先人達の知恵を応用して答えを見つけていくという姿勢が重要です。これが大学における「学問」です。特に本学では、先に掲げた教育理念に基づいて「社会貢献」を重要な実学として掲げ、実社会に直結したさまざまな課題解決のための教育研究に注力しています。

情報化社会は、日進月歩ならぬ「秒進分歩」の凄まじいスピードで変化を遂げています。この劇的な変化に伴う社会的要請に積極的に応えるため、皆さんの学びの場である本学はこの4月から総合情報学部総合情報学科、1学部1学科12コース制に改組し、新しい学びが始まります。その教育課程は、1、2年次には、情報学のエキスパートを養成するための科目群が配置され、すべての学生が総合情報学を一様に学ぶほか、大学生にふさわしい知識を養う学部共通の科目群、卒業後の進路を支援するためのキャリアデザイン科目群で構成されています。将来の進路、コースを意識して科目を選択するよう心がけて下さい。

3年次からは、情報学をベースとし、情報学を応用した専門コースが用意されており、そのコースで各自が選択した専門領域を学ぶこととなります。その専門コースには、心理・教育、スポーツマネジメント、起業・商品開発、会計・金融、社会コミュニケーション、CG・ウェブ、映像・音響、ちば地域構想、地球・自然、システム開発、ゲームアプリケーション、ネットワーク・セキュリティの個性ある12の専門コースが設置され、皆さんの興味や関心に応じてコースを選ぶことができることになっています。また、より深く専門性を追求するため、それぞれのコース内に設置された研究室に所属し、少人数で個性ある教授陣による直接指導を受けながら、専門性を有するエキスパートを養成します。研究室では、地域や民間企業と連携した必修科目の「プロジェクト研究」による教育研究が中心となります。この「プロジェクト研究」では、複数のコースが横断的に研究テーマを設定し、社会や民間企業に連なる様々な課題の解決に実践的に取り組みます。したがって、時にはキャンパスを飛び出して調査や研究を各地の現場で行うこととなります。最終年度の4年次では、各自が卒論研究テーマを設定し、大学での教育研究の集大成である卒業論文を作成することになっています。

このように東京情報大学での教育研究プログラムは、学内ばかりではなく、学外での他流試合を通じて実社会に通用する実力を養い、将来社会に出てすぐに役立つ情報のエキスパートと専門性を有するエキスパートの「ダブルエキスパート」を養成することを目的とした教育課程プログラムで構成されています。

このような教育を実践するため、大学では、個々の学生を「独立した人格者」として、言わば「大人」として扱い、「社会人としてふさわしい人格を完成させる」ことに重点を置きます。皆さんは、真っ白な紙に自分の人生設計を描き、将来の土台を築くためのスタートにあたり、「大学において自分は何をなすべきか」、「自分は何を目指すのか」という目標を定めて下さい。そして、自分なりの設計図を東京情報大学のこの4年間で完成させて下さい。そのためには、教室での座学中心の勉強ばかりではなく、実習や研究室の活動へ積極的に参加したり、さらには「健全な肉体に健全な精神が宿る」というが如く、大学祭等のイベントやクラブ活動等の課外活動を通じて心身を鍛錬するとともに、将来にわたって信頼できる数多くの友人を作ってください。充実した学生生活には、文武が車の両輪のごとく機能することが重要です。今後皆さんが、理想に向かって一段と高い目標を掲げ、悔いの残らぬよう大学生活を送られることを願っています。

最後に、皆さんの中には、今までと違った生活環境の中で大学生活を始められる方も多いと思います。一日も早く大学に溶けこみ、規則正しい自分の生活パターンを確立されるとともに、健康には十分に留意され大学生活をエンジョイして頂きたいと思います。

本日の入学式にあたり、新入生の皆さんの新たなる決意と目的意識をもった東京情報大学での大学生活を期待し、式辞といたします。